

## 令和6年度第1回春日井市道風記念館運営協議会議事要旨

- 1 開催日時 令和6年9月11日(水)午後2時30分～午後3時20分
- 2 開催場所 道風記念館 展示室兼会議室
- 3 出席者 会長 安達健治  
委員 後藤清勝  
野田晴義  
長谷川智  
日比野典子  
山本祐子  
いきがい創生部長 塚本滋  
文化スポーツ振興課長 田中芳樹  
道風記念館館長 白石大介  
上席学芸員 落合哲  
主査 鈴川宏美  
主事 石井彩由美  
傍聴者 なし
- 欠席者 委員 川本操代  
武内峰敏  
水谷栄太郎
- 4 議題 (1) 令和5年度事業報告について  
(2) 令和7年度事業計画について  
(3) 令和8年度特別展について  
(4) その他
- 5 会議資料 (1) 令和5年度事業報告について  
(2) 令和7年度事業計画について  
(3) 令和8年度特別展について
- 6 会議内容 (1) 部長あいさつ  
(2) 新任委員の紹介・委嘱状交付  
(3) 会長あいさつ  
(4) 議事

## 7 議事内容

### (1) 令和5年度事業報告について

令和5年度事業報告について説明した。意見・質問等はない。

### (2) 令和7年度事業計画について

令和7年度事業計画について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

野田委員

- ・NHKラジオで4月、5月に展覧会情報が取り上げられたのはとても良いことだと思う。今後も続けて発信できれば、よりたくさんの人に道風記念館の活動をわかってもらえるのではないかな。
- ・春日井市の主要な情報を流しているケーブルテレビの市政だよりを通してもっと発信すると効果的なのではないかな。以前ワークショップが発信されていた。
- ・60歳以上の春日井市在住者は無料であるなどを、よりアピールをしていくとよい。
- ・以前道風記念館を組み込んだウォーキングマップや、さわやかウォーキングがあったが、今もあるのか。
- ・開館45周年の記念として、市制80周年の記念事業で行ったはがきの公募展のようなイベントを開催すれば、より市民にとって身近な館になるのではないかな。

白石館長

- ・今後も報道機関等に道風記念館の事業をアピールしていきたい。さわやかウォーキングについては、JR東海から今年度の開催を打診され、当館は快諾したものの、近隣他施設の調整ができず、今年度の開催は流れてしまった。市では健康増進課がウォーキングマップを作製しており、現在も道風記念館を含むコースが存在している。各所で積極的に連携していきたい。
- ・普段は予算として難しいところはあるが、再来年の開館45周年等区切りの時期には、大きな事業ができればよいと考えている。今後ともご指導願いたい。

山本委員

- ・展覧会のレベルが非常に高く、意欲的に取り組んでおり、いつも感心している。特に現在開催中の特別展「岡寺版集帖」のテーマは、挑む館が少ないと思われる。
- ・子ども向けのワークショップも充実している。目を配って少ない人数でよく回している。

- ・自らも学芸員であったため、これらを全てこの人数でこなすと思うと厳しいものがある。もう少しスタッフを増やしてもいいのではないか。
- 後藤委員
- ・現在ほとんどの子どもが小野道風のことを知らない。文化スポーツ振興課では書の出張授業等を行い、書文化の振興に努めているが、その際に冒頭の5分でもいいので、小野道風の紹介ができればよいのではないか。
- 安達会長
- ・できることは今年度中から始めていただきたい。
  - ・予算が許す範囲で事業を展開できたらよいが、人員と時間が少ないのが懸念点である。
  - ・以前、他所でボランティアガイドが熱心に説明をされており、利用したところ、深い理解につながった。ボランティアを導入することも人材不足の解消につながるのではないか。
  - ・令和7年度と令和8年度の特別展のテーマを交換するのはいい考えだと思う。日本の古碑が一堂に会する機会はなかなかなく、国立歴史民俗博物館では同様のテーマで図録が完売したという話も聞く。日本の書のルーツを探るという点でも道風記念館で開催する意味がある。いい企画だと思う。

(3) 令和8年度特別展について

令和8年度特別展について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

- 山本委員
- ・とても楽しみではあるが、借用するのに敷居の高い館との交渉となるため、大変であるし緊張もすると思う。成功を祈念している。

(4) その他

- 後藤委員
- ・貴重な拓本など、寄付で増えた所蔵品も多いだろう。持ち主が高齢化しているので、これから遺族の方からの寄付が増えていくと思われる。これは要望であるが、収蔵庫を増設できないか。プレハブでもいい。良いものはいい収蔵庫に入れられたらよいのではないか。予算をつけてくれるとありがたい。

- 安達会長
- ・寄付を断ることがあるように、収蔵庫も足りていない。中間管理庫のようなものがあれば変わるのではないか、という意見が出たが、このような倉庫があることで、寄付の促進につながるのではないか。
  - ・図書については、図書館では例えば雑誌は一定期間が経つと除籍してしまう。雑誌にしか掲載されていない情報もあり、実は貴重。こういったものは地域で保管しなければならない。私からも収蔵庫増設をご検討いただけたらと思う。
- 白石館長
- ・今回の審議内容をふまえて来年度の予算要求をしていきたい。次回の協議会では来年度の予算内示についての報告ができればと考えている。

以上のおり春日井市道風記念館運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事要旨を作成し会長及び出席委員1名が署名する。

令和6年10月11日

会長 安達 健 治

委員 野 田 晴 義